

携帯型拡大読書器

LUNA 6



取扱説明書

株式会社日本テレソフト

目 次

安全上のご注意	1
各部の名称	2
充電方法	3
基本的な使い方	4
カラー モード	7
メインメニュー	8
設定	11
ファイル転送とテレビ接続	12
トラブルシューティング	13
製品仕様	14
保証とアフターサービス	15
お問い合わせ先	16

Luna 6 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

安全上のご注意

事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方法を記載しています。必ずお守りください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

- 誤った使いかたをすると、火災や人身事故、重大な損傷の原因となります
- 安全のため、使用時には周囲の状況に十分に注意してください
- 本機を移動するときは、配線を外してから動かしてください
- 不安定な場所に置かないでください。落下や故障の原因になります
- 推奨動作は湿度70%以内、温度10~35°Cです
- 水気と火気のある場所、化学薬品、可燃性の材料または液体の近くでお使いにならないでください
- 直射日光を避け、ヒーターや電子レンジの近くに設置しないでください
- 車内や熱がこもる場所に長時間置かないでください。故障や破損、事故やケガの原因になります
- 落としたり、衝撃を与えないでください。故障や破損、ケガの原因になります
- 本機の上に重いもの置いたり、強い力を加えないでください。破損の原因になります
- 本機の分解、改造、修理はしないでください。故障の原因となり、保証対象外となります
- ハンドルを強い力で動かさないでください。故障や破損、ケガの原因になります
- 本機を濡らしたり、濡れた手で電源アダプタに触らないでください。感電の原因となります
- ほこりや汚れが付着した場合は、付属のクロスか柔らかい乾いた布で拭いてください
- 当社指定の電源プラグ以外はご使用にならないでください
- 電源プラグを抜く際は、コード破損と事故防止のため、必ずコードでなくプラグを持って抜いてください
- 配線を差すときは、差込口の向きをご確認ください。誤った向きに強引に差し込むと破損の原因になります

各部の名称



充電方法

Luna 6を初めて使用する前に、バッテリーを完全に充電してください。

充電方法には、ワイヤレス充電と有線充電の2つの方法があります。



ワイヤレス(無線)充電

1. ワイヤレスチャージャーの電源プラグをコンセントに差し込みます
2. 本機のカメラがカメラスロットに、ハンドルがハンドルスロットに挿入される
ようにワイヤレスチャージャーに置くと充電ランプが赤く点灯し、充電がは
じまります

有線充電

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます
2. 本機のUSB-CポートにUSB-Cプラグを接続すると充電がはじまります

充電中	充電ランプが赤に点灯
充電完了	充電ランプが消灯
充電時間： 無線4時間、有線3時間 使用可能時間： 4時間	

- 画面にローバッテリーアイコン が表示されたときは、バッテリー残量が少ないとため、本機が間もなくシャットダウンします
- バッテリーは消耗品です。一般的に、バッテリーは繰り返し充電することにより、使用可能時間は短くなります
- 付属のワイヤレスチャージャーでのみワイヤレス充電ができます

基 本 的 な 使 い 方

リアルタイムビューとは

本機の動きに合わせて背面のカメラがとらえた画像をリアルタイムでスクリーンに表示します。静止画機能を使うと、カメラがとらえた画像が静止します

電源オン	電源ボタンを2秒長押し	電源ランプが緑に点灯
電源オフ	電源ボタンを2秒長押し	電源ランプが消灯
電力節約のため、本機は3分間操作がないと自動的にシャットダウンします。		
この省電力機能を無効にする方法はP.11をご覧ください		

拡大	拡大ボタンを押す 最大19倍
縮小	縮小ボタンを押す 最小2.5倍
コントラスト	P.9
ラインとマスク	P.10

ハンドルの使 い 方



本機の背面にあるハンドルの、向かって右側をゆっくりと外し、使いやすい位置まで時計回りに動かしてください。ハンドルの可動域は $0^\circ \sim 180^\circ$ です。

近景モード	ハンドルを閉じる
遠景モード	<p>ハンドルを開く</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ カメラはオートフォーカスです ■ フォーカスが外れた場合はモードボタンと静止ボタンを同時に短く押すと、再度フォーカスします

テーブルや机に置いているものを読むときは

1. 本機背面のスタンドを立てます
2. 対象物を平らに置き、その上に本機を置いてください
3. 読みやすい拡大率とカラーに変更し、本機を動かしながら読んでください

離れた場所にあるものを見るときは

1. 本機背面のハンドルを開きます
2. 必ず周囲の状況を確認し、人や物や車などにぶつからないよう、車道に出ないよう十分に気をつけてください
3. 本機を対象物に向けて読みやすい拡大率とカラーに変更し、見てください

書くときは

1. 本機背面のスタンドを立てます
2. 対象物を平らに置き、その上に本機を置いてください
3. 読みやすい拡大率とカラーに変更し、筆記をしてください

静止画機能

画像をキャプチャ(静止)し、画像をゆっくりと見ることができます

1. 本機を対象物に向けます
 2. 静止ボタンを1回押すと画像が静止します
- 拡大または縮小ボタンを押して画像の倍率を変更したり、モードボタンを押してカラー/モノクロモードを変更したりすることができます
 - パン機能(P.7)を使うと画面の中で静止画を上下左右に移動することができます
3. 静止ボタンをもう一度押して、リアルタイムビューに戻ります

静止画を保存する

1. 静止画機能で画像をキャプチャします
 2. 静止ボタンと拡大ボタンを同時に押すと、その画像が保存されます
- 保存されると画面にチェックマークアイコンが表示されます
 - 画面に「memory is full」と表示された場合はメモリがいっぱいです。新しい画像を保存するためには画像を削除する必要があります。P.8の削除方法を参照してください
 - 最大保存可能枚数は約400枚です

カラーモード

モードボタンを押すたびに以下の順でカラーが切り替わります

① 自然色

高コントラストモード

- ② 黒背景／白文字
- ③ 白背景／黒文字
- ④ 黒背景／黄文字
- ⑤ 黄背景／黒文字
- ⑥ 青背景／白文字
- ⑦ 白背景／青文字
- ⑧ 黒背景／緑文字
- ⑨ 緑背景／黒文字
- ⑩ 青背景／黄文字
- ⑪ 黄背景／青文字

- カラーモードの任意設定ができます(P.10)
- 高コントラストモード表示のときにモードボタンを1秒間押すと、ビープ音が鳴り自然色に切り替わります

パン機能

静止画を拡大して画像を上下左右にパン(移動)して、特定の領域を表示します

- 1. 静止画機能で画像をキャプチャします
- 2. 拡大ボタンを押して画像を見やすい大きさまで拡大します
- 3. ホームボタンを押しながら、モード／静止／拡大／縮小ボタンのいずれかを押すと画像が上／下／右／左に移動します
- ボタンを短く押すと画像が少しずつ移動
- ボタンを押したままにすると連続して移動
- 4. 静止ボタンをもう一度押して、リアルタイムビューに戻ります
- パン機能使用時は画面の左右にガイドアイコンが表示されます
- 上下左右の最大値までパンすると赤いラインが表示されビープ音が鳴ります
- ラインとマスク機能と併用できません

メインメニュー

メインメニューを起動／終了 ➡

リアルタイムビュー使用時にホームボタンを 2 秒長押し



ギャラリー

保存した画像を確認することができます

1. 拡大または縮小ボタンを押して画像を選択
2. モードボタンで決定すると選択した画像が表示されます

色の変更 ➡ モードボタン

画像を移動させる ➡ パン機能(P.7)

画像を削除 ➡ 静止ボタンと縮小ボタンを同時に押す

メインメニューに戻る ➡ 静止ボタン

ライト

背面の LED ライトをオン／オフにします

ライトオン／オフの選択 → 拡大または縮小ボタン

選択を決定する → モードボタン

デフォルト → LED ライトがオン

サウンド

システムのサウンドをオン／オフにします

サウンドオン／オフの選択 → 拡大または縮小ボタン

選択を決定する → モードボタン

デフォルト → サウンドがオン

- 音量を変更する機能はありません

明るさ

画面の明るさを調整できます

明るさの選択 → 拡大または縮小ボタン

選択を決定する → モードボタン

コントラスト

コントラストの強弱を調整します

コントラストの選択 → 拡大または縮小ボタン

選択を決定する → モードボタン

- リアルタイムビュー使用時にこの機能を起動する場合は、高コントラストカラービュー時に、モードボタンを押したまま拡大または縮小ボタンを短く押す
- 自然色になっているときにはコントラストは機能しません

カラーモード

- 使用頻度の低い高コントラストカラーを非表示にして、
カラー モードをシンプルに使いやすくすることができます
非表示にするカラー モードを選択 ➔ 拡大または縮小ボタン
非表示にするカラー モードを決定 ➔ モードボタン
- 非表示にしたカラー モードにはアイコンに斜線がつきます
 - 再度表示する場合は、同じ動作を行いアイコンの斜線を外してください

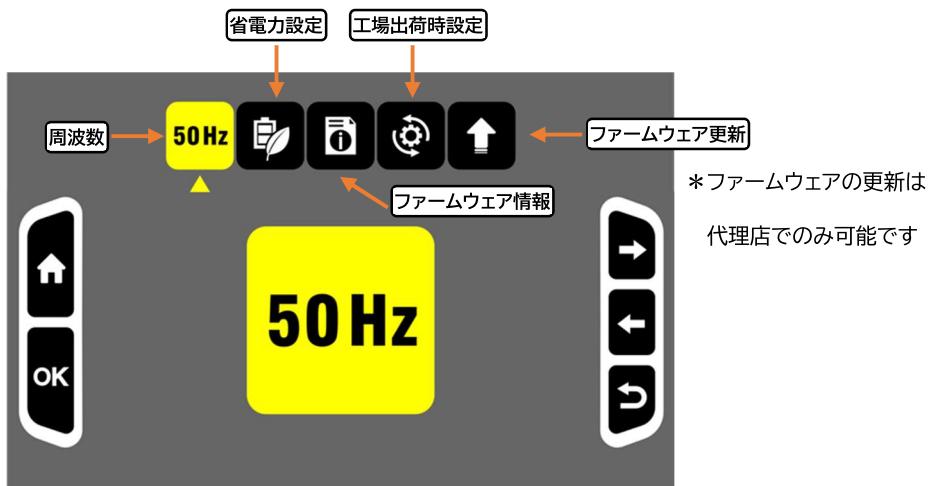
ラインとマスク

- ライン機能 : 画面上に線が表示され、読むことをサポートします
マスク機能 : 画面の一部を隠し、読みたいところだけを表示します
ラインとマスクの選択 ➔ 拡大または縮小ボタンで以下の順で切り替わります
ラインとマスクなし ➔ 横ライン ➔ 縦ライン ➔ 横マスク ➔ 縦マスク
- 決定 ➔ モードボタン
ラインの位置／マスクの幅を調整 ➔ ホームボタンを押したまま、拡大または縮小ボタンを同時に押す
- リアルタイムビュー 使用時にこの機能を起動する場合は、ホームボタンと静止ボタンを同時に押す
 - パン機能とは併用できません

設定

- 周波数、省電力設定、ファームウェア情報、工場出荷時設定、ファームウェア更新を設定および確認することができます
詳細は次ページへ

設 定



* ファームウェアの更新は
代理店でのみ可能です

周 波 数 (ご利用の地域に合わせて設定してください)

周波数の選択 → 拡大または縮小ボタン

決定 → モードボタン デフォルト → 60Hz

■ 表示のアイコンは現在設定されている周波数(60Hz または 50Hz)

省 電 力 (有効にすると 3 分間操作がないと自動的に電源オフ)

機能の有効／無効 → 拡大または縮小ボタン

決定 → モードボタン デフォルト → 有効

■ 省電力機能をオフにすると、本機はバッテリーがなくなるまで自動的に電源オフになることはありませんのでご注意ください

ファームウェア情報 本機のファームウェア情報を表示します

工 場 出 荷 時 設 定 本機を工場出荷時の設定に戻します

「Restore factory settings?」が表示 → 「YES」を選択

ファイル転送とテレビ接続

PCとのファイル転送

本機に保存されている画像は、付属の USB-C ケーブルを介して Windows コンピューターに転送できます

1. 本機と転送先のコンピューターの電源オン
 2. 付属の USB-C ケーブルを本機の USB-C ポートに差し、両機を接続する
 3. コンピューター内の「DCIM」フォルダから保存したい画像を選択し、コンピューター内の任意のフォルダに転送する
- フォルダパス：PC > USB ドライブ > DCIM
 - コンピューター側から本機への画像転送は、絶対に行わないでください

テレビまたはモニターへの接続

付属の HDMI ケーブルを使用してテレビやモニターに接続し、本機の画像をより大きな画面で見ることができます

1. 付属の HDMI ケーブルを本機の HDMI 出力に差し、テレビまたはモニターの HDMI 入力端子と接続する
 2. 接続したテレビまたはモニターの入力ソースを変更すると本機の画像がテレビまたはモニターに表示されます
- 2018 年以降に製造されたテレビまたはモニターと接続してください
 - HDMI 入力端子があるテレビまたはモニターのみ機能します
 - 入力ソースの変更方法はお使いのテレビ、モニターにより異なります。詳しくはテレビまたはモニターの取扱説明書をご覧ください

トラブルシューティング

電源を入れても画面が黒い状態

- 電源が確実に入っているか確認してください
- 完全に充電されているか確認してください
- バッテリーが劣化していないか確認してください
- 倍率を下げるか、カラーモードを変更してください

電源が入らない

- 本機を完全に充電してください

画面上の画像が暗い、または歪んでいる

- 本機の角度や置き方を変えてください
- LEDライトを点灯するか、明るさ調整をしてください

本機をテレビまたはモニターに接続したが、画像が投影されない

- テレビの電源が入っているか確認してください
- テレビの入力ソースが正しく設定されているか確認してください
- ケーブルが正しく接続されているか確認してください

電源アダプタが接続されているが、バッテリーが充電されない

- コンセントに電源アダプタが接続され、プラグが本機の電源ジャックに確実に差し込まれているか確認してください
- 電源アダプタのコードが切れていないか確認してください

本機に汚れや傷がある

- 電源を切り、全ての配線を外してから乾いた柔らかい布で拭いてください

動作のフリーズなど、このマニュアルに記載されていないその他の問題が発生

- 電源ボタンを10秒間押して、本機を強制的にシャットダウンしてください

解決しない場合や上記以外の問題がある場合は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

製品仕様

倍率	2.5 倍から 19 倍
カラー モード	自然色 10 種類の高コントラストカラー
フォーカス	オートフォーカス機能搭載
スクリーン サイズ	5.5 インチ
画像解像度	1280 x 720
カメラ	13MP
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
充電時間	ワイヤレスチャージャー: 4 時間 USB-C ケーブル: 3 時間
連続使用可能時間	4 時間
電源アダプタ	入力: 100 - 240V 出力: 5V/2.5A
サイズ	16cm x 8cm x 2.4cm
重量	本体: 218g ワイヤレスチャージャー: 92g
動作および保管条件	湿度: 70% 温度: 10-35°C
その他機能	静止画像、パン機能 ファイル転送、HDMI 出力
付属品	ワイヤレスチャージャー USB-C ケーブル HDMI ケーブル、クロス キャリングケース、電源アダプタ

保証とアフターサービス

- 保証サービスを受けるために、『お買い上げ日・販売店名／電話番号・シリアルナンバー(S/N)』を下の欄に記載し、本書を大切に保管してください。
- 本機の保証期間は2年間、バッテリーは12ヶ月間の保証となります。
- 保証期間内は当社規定に基づき無償修理を行います。
- 本機の通常の使用で傷や損傷を受けるすべての金属およびプラスチックの表面、付属品、その他の外部露出部は保証対象外です。
- 以下の原因による故障・破損は保証外になります
 - 初期不良、自然故障以外
 - 落下、衝撃、液体や火気による場合
 - 保証期間経過後
 - 指定の付属品以外を使用した場合
 - 通常の用途以外でのご使用
 - 火災、地震、水害、その他の天災地変、公害、異常電圧
 - お取り扱い方法と設置や接続を誤った場合
 - 日本国外でのご使用
 - 指定の窓口以外で修理を行った場合
- 保証期間終了後は有償修理いたします。
- 修理を依頼される前にトラブルシューティング(P.13)をご覧ください。
- 改善されない場合はお買い上げいただいた販売店へお問合せください。
- お問い合わせの結果、修理が必要な場合、「日本テレスoft 熊本支社」へ発送してください。
なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合や修理できない場合がございます。
- 本端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の製造終了などにより修理ができない場合もございます。あらかじめご了承ください。
- 購入時の梱包箱は、修理が必要になったときのために保管ください。

お買い上げ年月日	
販売店名／電話番号	
製品番号／シリアルナンバー	

お問い合わせ先

■ お客様ご相談窓口

株式会社 日本テレスoft 福祉機器事業部

平日 10:00 ~ 17:00

TEL : 03 - 6913 - 5641

E-mail : ts-info@telesoft.co.jp

〒167-0034 東京都杉並区桃井2-1-3 3階

URL : <https://www.nippontelesoft.com>



■ 修理品送り先

- 事前に故障個所についてお買い上げの販売店へご相談ください

株式会社 日本テレスoft 熊本支社

TEL : 096 - 282 - 8838

〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南6丁目7-63

- 本機の仕様および外観は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります
- ホームページでは最新の情報やQ&Aをご案内しております